

介護支援専門員専門研修 専門研修課程Ⅱ（実務経験者に対する更新研修） 事前課題について（説明書）

1. 研修について

（1）研修目的

各テーマ（後述の【テーマ表】参照）に基づく事例を用いて演習を行うことにより、知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得します。また、演習等で得られた各テーマに基づく事例に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例に対応することができる知識・技術を修得します。

（2）研修の進め方

受講者の皆さまに、事前課題として提出いただいた事例を用いて、会場受講時にグループ演習を行います。（演習で使用する事例は事務局及び講師で決定します。）

2. 事前課題について

（1）事前課題の目的

所定様式にご自身が関わっている事例を整理し記入することで、その事例における対応の基本的視点、支援課程、支援結果、反省点を分析することができます。また、客観的にご自身の実践を振り返ることができます。

（2）事前課題の作成

ア 事例の選定

ご自身が関わっている要介護の対象者で、現在支援に困難を感じている事例を1つ選んでください。

※現在ケースを担当していない場合は、過去に関わった事例で構いません。

※「要介護」の担当経験がない場合は、職場内で関わった事例で構いません。

【テーマ表】下記から事例に最も当てはまるメインテーマを1つ選択し、
他にも関連すると思われるサブテーマを2つ選択してください。
選択したテーマは、別紙「事前課題【表紙】」に記載してください。

	テーマ名
④	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
⑤	脳血管疾患のある方のケアマネジメント
⑥	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
⑦	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
⑧	心疾患のある方のケアマネジメント
⑨	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
⑩	看取り等における看護サービスの活用に関する事例
⑪	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

イ 所定様式への記入

別紙2「事前課題作成説明資料 ～記載のポイントや留意点～」を参考にしながら、所定の様式（見本参照）に記入してください。

様式は「ウィリング横浜」ホームページからダウンロードできます。（令和8年8月13日～）

<https://www.yokohamashakyo.jp/willing/kensyu/caremgr/>

※パソコン入力推奨。Excel（マイクロソフト社のソフト）を使用します。

～事例を記入する際の注意事項について～

職務上、知り得た個人情報、よりよく支援を行うために当該者から得られた情報であり、その限りで同意を得られていると理解するのが相当と考えます。

したがって、原則としては本人の同意を得て、事例使用すべきではありますが、困難性を抱えている事例もあると考えますので、同意を得にくいものと想定されます。そこで、事例を記入する際には、個人が特定されないよう、利用者及びご家族のプライバシーに十分配慮してください。

※提出していただいた事例の内容に関する責任は、提出者である受講者ご自身にあるものとしますので、十分ご注意ください。よろしく願いいたします。

ウ 書式を整える

記入した資料を（ア）（イ）の順に重ね、左上1か所をホチキス止めしたものを、2部作成してください。

（ア）事前課題【表紙】

（イ）介護支援専門員専門研修 事例報告用紙：A4 4枚 ※片面、両面どちらでも可

（3）提出方法

下記にご留意の上、事務局までご提出ください。

なお、事前課題の提出がない場合には、すべての研修を受講することができませんので、ご注意ください。

提出締切日： **9月30日（水）必着**

提出資料： **・自己評価シート 1枚**

※自己評価シートについては、別紙『「自己評価シート」（神奈川県介護支援専門員資質向上研修事業）について』をご確認ください。

・書式を整えた事前課題 2部

提出方法： 次の宛先に郵送にて提出してください。

※「専門Ⅱ（更新32）事前課題在中」と封筒にご記載ください。

提出先： 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおかビル 4階
ウィリング横浜 介護支援専門員専門研修担当 あて

【問い合わせ先】（土日祝日除く、9：00～17：00）

ウィリング横浜 人材開発担当

介護支援専門員研修担当 岩間・佐藤

電話：045-847-6674